

# 青年部は、10月総決起の先頭に立つぞ!

三里塚・ジェット闘争貫徹ノ「国鉄35万人体制」粉碎!

## 4回 動労千葉青年部定期委員会 圧倒的成功 勝ちどる

九月二十六日、労働者福祉センターに於て、第四回動労千葉青年部定期委員会が開かれた。初参加の銚子支部青年部を含め全十支部より代議員・常任委員・傍聴者約一〇〇名が結集し、終日熱気あふれる討議をもって委員会は圧倒的成功を勝ちとった。

10・11三里塚へ! 10月総決起の先頭へ! 職場で、街頭で、青年部の総決起に更に一段の拍車がかかったのである。

せまりくる戦争と反動の嵐を突き破れ!  
密集せる反動と反革命を打ち砕け!

三里塚二期決戦の爆発で、労働運動の未来をきり拓け!  
ーメインスローガンー

正面にかかげられたこのスローガンに、青年部の気迫がピンピンと感じられる。9時30分、新藤常任の司会で開始され、新井(千葉転)・伊藤(幕張)両代議員が議長に選出された。田中青年部長が挨拶にたち、「過ぐる一年間はわが動労千葉の真価を発揮したすばらしい闘いの一年間であった。労農連帯の三月決戦ストの勝利と、密集した反動・反革命との死闘を通じた前進、このことの中に日本労働運動の進むべき方向と展望がさし示されている。しかし情勢はもっと急テンポに戦争への危機を日に日に強めている。支配者が総力を傾注してかけてきた三里塚二期攻撃を今秋総決起でむかえうち、三里塚から軍事大国化阻止の反戦の闘いをぶちぬいていこう。そこに唯一の勝利の道がある」と決意と方針を述べた。

と激励。三里塚芝山連合空港反対同盟北原事務局長は「二期決戦を前に悪らつなデマ宣伝で同盟破壊に血道をあけている革マルは断じて許せない。公団の手先、全人民の敵革マルを全ゆる戦線から一掃しよう」と激しく訴えた。労働運動の原則を死守して、不屈の長期争議を闘う全金・本山労組から中野書記長が仙台からかけつけ「本山一動労千葉を軸に日本の労働運動を今こそつくりかえよう」と決意表明。千葉県下各労働組合を代表して全通千葉地区青年部長小高氏、支援共闘を代表して東京実行委の長谷川杉並区議が各々激励と連帯の挨拶を行った。

### 活発な討論通し、10・11総決起を確認

常任委員会よりの総括提起、会計報告、情勢・方針等をうけて、一年間の豊富な闘いの成果・体験をふまえた活発な討論に移った。「革マルによる告訴に対して怒りは尽きない。たとえ無罪で終っても許すことはできない。弾劾決議案を提案する(勝浦)」「三里塚こそ戦争や反動政治をうちくたく全人民の総決起の砦だ。10・11には青年部員は年休・交番変更をしても全員参加しよう(成田)」「この戦争へ



10.11 いざ三里塚へ! 青年部30名で千葉駅街闘

9月21日、夕刻、宣伝カー構新幕、ゼッケン、ハイマキで、署名・カンパ・ビラまきを貫徹。「二期阻止」を新法



案する(勝浦)」「三里塚こそ戦争や反動政治をうちくたく全人民の総決起の砦だ。10・11には青年部員は年休・交番変更をしても全員参加しよう(成田)」「この戦争へ



新常任体制	
青年部長	田中 康宏 検修・25 才津田沼
副	長田 敏之 機関士・23 蘇我
書記長	繁沢 敬一 電運士・24 千葉転
常任	井上 哲郎 電運士・24 勝浦
新藤	雄一 検修・24 幕張
岡安	正人 電運士・24 館山
笠井	清 機関士・23 佐倉
永島	務 電運士・22 津田沼
阿津	浩幸 構運・21 新小岩
内田	晃 構運・19 成田
山田	護 検修・24 木更津
国東	孝 検修・24 幕張
笹島伊三美	構運・22 新小岩
会計監査	山田 護 検修・24 木更津

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ!